クエスト通信

天童三中総合学習担当発行　　令和４年７月 28 日

「クエストエデュケーション」 1学期の取り組み

天童三中の特色のひとつである「クエストエデュケーション」。取り組み始めて今年で３年目。山形県内の中高で取り組んでいるのは２校のみ(他に東桜学館中)。「クエストエデュケーション」は、仲間と力を合わせ、考え、行動し、自分だけのオリジナルの答えを見つけることを体験的に学ぶ探究型プログラムです。ICT 機器も整備され、各学年の取り組みも年々パワーアップしています。この紙面で、保護者の皆様にも各学年の総合学習の様子の一部をお知らせします。

1年生　「天童クエスト～我が街天童の魅力を解明せよ～」

クエストとは？・・・①探索・探究　②冒険の旅

天童市内を探検し、クエストミッションにチャレンジ。アドベンチャーゲーム「DRAGON　ＱＵＥＳＴ」に例えて、勇者（班長）、賢者（副班長）、レンジャー（ナビ係）、僧侶（健康安全係）、魔法使い（記録係）となる班編成。クエストを通して、班員とともに天童の魅力を解明していく。自分たちの作戦で、一定時間内にできるだけ多くのポイントを集め、優勝目指して頑張った。

2年生　「ソーシャルチェンジ・ファースト」

「学校を日本で一番有名にする方法」等の課題に取り組み、２年生が知恵を絞って工夫したアイディアと、ユーモラスなリアルパフォーマンスで１年生へプレゼンテーション。慣れた手つきで ICT 機器も使いこなし、頼もしい先輩の姿を見ることができた。

「コーポレートアクセス」

教室でインターンしながら､実在する企業と共に未来をつくっていくプログラム。STEP6「課題を報告する」では、２年３組が公開授業を行った。当日は、福岡県糸島市(フォレストアドベンチャー・糸島)と東京都千代田区丸の内(カルビー本社)と天童三中をオンラインで結び企業人に授業を参観してもらう。また、東京から「教育と探求社」の本校担当者も来校しアドバイスを受けた。企業人も生徒のプレゼンテーション力の高さに感心していた。

3年生　「ソーシャルチェンジ」

「ソーシャルチェンジ」は、困っている人を助けて、その人を笑顔にするプログラム。世の中にあるさまざまな課題をみつけて、アイディアを出し合い解決していく。STEP4「困っている人を思う」では、３年４組の授業に、東京から来校した「教育と探求社」の本校担当者も参加。グループに加わって、なぜその人をチームで助けたいのか深掘りを行った。「キミが誰かを笑顔にする日」を実現するために、小さなアイディア、小さな一歩でも、世界を変えていくことができると、アドバイスをもらった。